

2月定例会号

目次

・特集 明日の和歌山市を築く ジュニア会議	P2
・2月定例会の概要	P4
・令和6年度当初予算	P5
・代表質問	P6
・一般質問	P8
・委員会審査の概要	P12
・採決状況	P14
・市議会からのお知らせ	P16

わかやま 市議会 だより

No.113 令和6年(2024年)5月1日発行

ジュニアの想い 結集!!



特集vol.25

明日の和歌山市を築く

ジュニア会議

和歌山市をより良いまちにするために自分の想いを伝えたい――

1月5日に「明日の和歌山市を築くジュニア会議」が議場で開催され、市立中学校及び義務教育学校の生徒が、自ら調べ考えたアイデアを発表しました。



③“本物”の議長にご挨拶!



名刺いただいた
ちゃいました!

②議会フロアを見学!



①議会の仕組みを勉強!



一日議会体験



④登庁表示ランプを点灯!



⑤いよいよ議場に入場!



どきどき
ちょっと
緊張するなあ

⑥任命式!



精一杯
頑張ります!

皆さん、よく考え
られています!
一緒に地域の
課題を解決して
いきましょう!



1グループずつに
戸田議長が
コメントしました!

⑦いざ本番! ジュニア会議

市内18校から35名が参加。
議長役、議員役、市長役に分か
れて、市議会を体験しました!



ジュニア市長



ジュニア議長



ジュニア議員



中学生の視点で考える 和歌山市の未来

ジュニア会議は、将来の和歌山市を担う中学生が、自分の市の姿をよく見つめ、快適に住みよいまちづくりなどについて自ら考え、明日の和歌山市をつくるための夢や希望を届ける場として、平成19年度から市教育委員会が開催してきました。

議場を使つての開催は7年ぶりで、将来の地方自治を担う子供たちへの主権者教育の更なる推進を目指し、今回から、市議会と市教育委員会との共催で行うことになりました。

ジュニア会議当日は、各校から代表生徒2名が参加。6グループに分かれ、それぞれ議長役、議員役、市長役を担当し、生徒のみで会議を運営しました。

初めての議場に緊張した面持ちの生徒たちでしたが、いざ会議が始まると、そのまなざしは真剣そのもの。空き家対策、若者の県外流出、公園の利用方法、学校でのインターネット環境問題、若者への防災対策、加太地区の活性化などについて、中学

生ならではの視点で課題を設定し、その解決方法を発表しました。単なる思いつきではなく、現状を分析し、必要なデータを収集し、他自治体の取組などもしっかり調査するとともに、新しい価値観に基づく解決策を提示するなど、本当に素晴らしい内容でした。

ジュニア会議の質問と答弁は、市教育委員会のホームページに掲載しています。ジュニアたちが考えた未来とは――。ぜひご一読ください。

ジュニア会議の
質問と答弁は
こちらから



自ら考え自ら行動 主体性育む教育を

ジュニア会議終了後には、生徒と広報委員が対談を実施しました。

生徒からは「髪型の規程は必要なのでは」「女子も制服にズボンが選べればいいと思う」「売店で食べ物を買ってほしい」「自動販売機の飲み物の種類を充実させてほしい」など生の意見を聞くことができました。

おかしいと思うこと、疑問に

思うことがあれば、友達や先生と議論を重ね、解決に向けて行動してほしいとメッセージを伝えると、生徒たちが一様に晴れやかな顔を見せてくれたことが印象的でした。

私たち議員は、市民に最も身近な市議会を目指して、日々活動しています。幼い頃から政治を身近に感じ、主体的に社会参加する子供が少しでも多く育まれるよう、これからも主権者教育について積極的に取り組んでいきます。

編集後記

皆さんの質問や答弁を聞いていましたが、和歌山市の現状から課題を把握する力やその分析力、解決のための提案力や若者ならではの発想力は大変素晴らしく、市議会とそんなしょくないやりとりに、ただただ感嘆したところです。

市議会の一端を経験したことで、更に市政に興味を持っていたいただき、将来何らかの形で市政に携わっていただければうれしく思います。特集担当：清末 博善、辻本 太一、坂口多美子

令和5年度
明日の和歌山市を
築くジュニア会議

2月定例会の概要

開会

2月22日

- ・会期の決定(2月22日～3月21日)
- ・議案説明(議案29件(補正予算案21件、条例案2件、繰越明許費に関する補正予算案3件、その他3件))
- ・議案に対する質疑(森下議員)
- ・議案の委員会付託

2月26日～27日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について、審査、討論及び採決

2月29日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(南畑議員)、採決
- ・議案説明(議案36件(当初予算案17件、条例案18件、その他1件))

代表質問

3月4日

各会派の代表者による代表質問

- ・中村元彦議員、藪 浩昭議員、川端康史議員、赤松良寛議員、森下佐知子議員、山野麻衣子議員 (P6～P7に概要掲載)

一般質問等

3月5日

- ・木野十三議員、山路恭世議員、辻本太一議員

3月6日

- ・山本大地議員、坂口多美子議員、永野裕久議員

3月7日

- ・追加議案の説明(工事請負契約関係1件)
- ・南畑幸代議員、山本忠相議員、松本哲郎議員

3月8日

- ・芝本和己議員 (P8～P11に概要掲載)
- ・議案に対する質疑(森下議員)
- ・議案の委員会付託

常任委員会

3月11日～14日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

3月15日

- ・厚生委員会で議案について審査
- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決 (P12～P13に概要掲載)

特別委員会

3月18日

- ・地震等災害対策特別委員会

閉会

3月21日

- ・各常任委員会の委員長報告、組替え動議
- ・反対討論(坂口議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件2件)、採決
- ・議員発議(会議規則の一部改正1件、市長専決処分事項の指定1件)、採決

令和5年度予算(2月補正後)

一般会計	1,705億908万円 (補正額97億5,816万5千円)
特別会計及び公営企業会計	1,384億4,805万4千円 (補正額△10億411万5千円)
合計	3,089億5,713万4千円

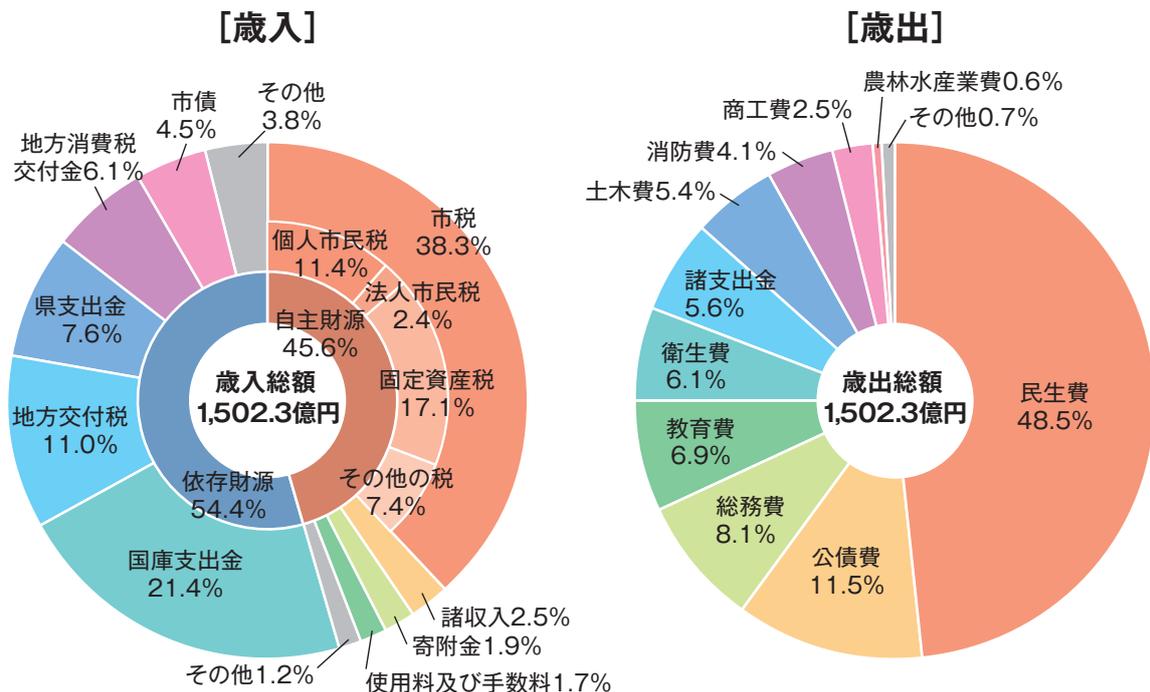
補正予算の概要

一般会計では、国補正を活用した低所得者支援及び定額減税補足給付金事業、農業施設改良事業、中学校給食センター整備事業に要する経費、各事業における事業費の決定や精算等による予算などが計上されました。

特別会計(公営企業会計を含む)では、各会計で事業費の決定や精算等による予算などが計上されました。これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

令和6年度当初予算

一般会計



特別会計

961.1億円

公営企業会計

415億円

予算合計

2,878.4億円

地方創生による人口の社会増に向けた ラストスパートの予算



1 誰もが安心して暮らせる優しいまち

1 命と暮らしを守る取組の推進

・ライフラインの安定化と生活排水対策の推進

2 誰もが健康に安心して暮らせる地域づくり

・高齢者・障害者の生活安心サポート

3 スマートで持続可能な未来社会の形成

4 物価高騰対策の着実な実行

など



2 ふるさとで学び働けるまち

1 好機を逃さず成長をつかみとる産業の発展

・市内産業への人材確保と企業の生産性向上

・強い農水産業づくり

2 魅力を高め消費を促す“稼げる観光”の推進

・和歌の聖地・和歌の浦を核とした歴史探訪

3 愛着を育て人を呼び込むきらり輝くまち

など



3 子供たちがいきいきと育つまち

1 子供の育ちを支え

子育てを助ける環境づくり

・子育てに係る経済的支援の強化

・「仕事と子育て」の両立に向けた取組

2 未来を担う子供の学びと成長を支える教育

・健やかな体を育む学校給食・食育の充実

・安全・安心な教育環境の実現

など



4 県都として活力にあふれたまち

1 共創で育て広げるまちの繁栄

・JR和歌山駅エリア再開発

・南海和歌山市駅周辺

グランドデザイン

・光で彩るナイトタイムエコノミー

・地域公共交通網の維持・充実

2 豊かな暮らしと自然の未来への継承

など



代表質問

各会派の代表者による質問内容の一部を抜粋して掲載しています。



録画中継がご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

創和クラブ



なかむら もとひこ
中村 元彦

森林・里山の整備

問 森林伐採や開発等で動物の生活の場が奪われており、鳥獣害対策と並行しつつ、動物が森林で暮らせる環境になるよう取り組みなければならぬ。このような取組こそ人と自然が共存する持続可能な社会の実現となり、森林を豊かにすることで、生産者の生活を守ることに繋がると考える。現在実施している鳥獣害対策の方向性を徐々に転換

し、持続可能な社会を目指し、森林里山の整備に注力するという考えはあるか。



答 森林は水源のかん養や生活環境保全等の公益的機能を有しており、地域の実情を勘案し、有効な手段を検討していく。里山は農家への指導・啓発活動を継続し、鳥獣害対策が適切に講じられた緩衝地を設けることで、人獣がすみ分け共存できる持続可能な社会の実現を目指したいと考える。

交通政策

問 交通不便地域の移動手段を公共交通で対策していくのは、行政の基本である。例えば、市内の拠点病院とショッピングセンター等を経由循環するグリーンズ

代表質問

ローモビリティを運行するなど、高齢ドライバーが免許証を返納した後、生活に困らないように、将来を見据え計画を立て、交通不便地域の解消を柱に全市的に公共交通を見直すべきと考えるがどうか。

答 地域バス等の導入支援に加え、新たなモビリティや新技術を活用するなど、市民の移動手段の確保を図る。将来に向け、自動運転バスやAIオンデマンド交通等の先端技術の導入や、グリーンズローモビリティの活用なども検討し、誰もが安心、安全で快適に移動できるまちづくりを進めていく。

子供を取り巻く環境整備

問 子供と接する職業に就こうとする人に性犯罪歴がないことを確認する日本版DBSが制度化されようとしているが、何か準備を進めているか。また子供たちを性犯罪から守るために取り組んでいることはあるか。

答 教育職員等の任用は、児童生徒性暴力等を行ったことにより教員免許状が失効等になった者を把握し判

断している。保育士は児童へのわいせつ行為による保育士資格登録の取消情報を閲覧できるデータベースを活用し、任用判断していく。

問 国が令和8年度から全ての自治体で実施する方針であることも誰でも通園制度について、本市として6年度に試行的事業を行う予定はあるか。また、提供体制の整備計画はあるか。



答 保育士等の人員確保などの課題があり、令和6年度の実施予定はない。整備計画は、第3期子ども子育て支援事業計画の策定過程でニーズの調査・把握を行い、策定していく。

問 様々な理由で不登校になつてしまつ児童生徒へのサポート策として、居場所つ

くりが重要である。行き場がないと感じている児童生徒に手を差し伸べ、温かい居場所を提供できないか。

答 校内に適応指導教室を設置することで居場所として活用している。また子ども支援センターにふれあい教室を設置し支援を行っている。今後も子供とともにつくる新たな居場所づくりを積極的に取り組んでいく。

公明党議員団



やぶ ひろあき
藪 浩昭

人口減少時代における自治体行政の在り方

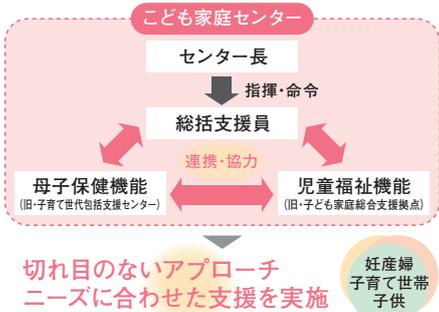
問 人口減少が進行するなか、市民への行政サービスが低下しないように、人口減少を視野に入れた行政運営を進めることが重要であると考え。人口減少時代を先取りして、様々な分野で本市をどういう方向で導こうと考えているのか。

また、人口減少の要因で

もある少子化についてどのような対策を考えているか。

答 人口対策本部を設置するとともに、全庁一丸となつて、県都としての活力の維持・向上を図っていききたいと考えている。

また、こども家庭センターを新設し、包括的な家庭支援を行い、今後も若い世代の希望に応えられるよう、子育て環境日本一の加速化を目指していく。



防災減災対策

問 災害発生時に避難所となる学校施設は、防災機能強化と併せ、老朽化対策にも対処することが防災減災につながるかと考える。防災機能の強化や老朽化対策をどう加速化させていくのか。

また、孤立集落の救出救援対策はどうなっているか。

答 学校施設の防災機能の強化、老朽化対策を一層加速させていく。

また、孤立集落について、陸路のみならず、空路等による救出救援体制を構築していく。自然災害の犠牲者ゼロを目指し防災・減災のため対策を加速させることは急務であり、市民の命を守る取組を推進していく。

民主クラブ



かわばた やすふみ
川端 康史

大雨による浸水対策

問 亀の川雨水ポンプ場の整備は令和6年度に実施設計に着手するが、それ以降の進め方やポンプ場完成後の効果はどうなるのか。

また、紀三井寺団地西側は、幾度となく道路冠水や床下浸水が発生している。公共下水道事業の雨水整備が実施されるまでの間、浸

水被害軽減に向けた対策はどうなるのか。さらに、安原小学校は避難場所に指定されているが、安全に避難できるために、どのような浸水対策を考えているか。

答 亀の川雨水ポンプ場の整備は、令和14年度の完成に向けて取り組んでいく。完成後は、内原地内の県道と歌山海南線周辺の浸水被害が軽減されると考える。

紀三井寺団地西側は、河川管理者と協議し、排水ポンプの増強や水路改修など、引き続き対策を検討していく。また、安原小学校周辺は、水路のしゅんせつやかさ上げなどを実施しているが、今後も関係部局と連携し、市民が安全に避難できるよう対策を講じていく。

和歌山興志クラブ



あかまつ よしひろ
赤松 良寛

本市の人口問題

問 本市の人口は今後、出

生率低下に伴う少子化と二層の高齢化により人口減少が二気に進むと予想される。人口の社会増の実現には、全庁一丸となって取り組む体制づくりが重要であり、学

ぶ場働く場、安心して子供を預けられる場、便利に生活できる住環境など、本市が移住に魅力あるまちになるようまとめ上げることが最重要であると考えている。

昨年12月議会でも人口問題対策本部を設置するとの答弁を得たが、本部設置に向けたその後並びに市長の社会増への思いはどうか。

答 現在、人口対策本部会議開催に向け、準備を進めている。私自身が先頭に立ち、人口の社会増を必ず実現していくという不退転の覚悟で進めていく。

日本共産党議員団



もりした さちこ
森下 佐知子

水道行政

問 新ビジョン原案の17.8%の料金改定は、市民生活への影響が大きいため、きめ細かい説明会の開催が必要だと考えるがどうか。

答 理解が得られるよう、より丁寧な説明を行っていきたいと考えている。

住宅行政

問 住宅第2課管轄の住宅も第1課と同様、公募すべきたと考えるが、どうか。

答 組織の在り方や公募について研究を進めていく。

日本維新の会



やまの まいこ
山野 麻衣子

道路行政

問 賛否はあるが、しっかりと市民の声を吸い上げる住民説明会を早急にすべきと思うがどうか。

答 住民説明会については、連合自治会の協力を得て、速やかに開催できるよう努めていく。

ピックアップ! 一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各党派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

創和クラブ



つじもと たいち
辻本 太一

災害時の被災者支援

問 地震や津波、水害など、もしもの有事のときこそ、政治や行政が市民に最も寄り添い、リーダーシップをとり、進むべき方向に導いていかなければならない。そして、被災された方々の負担を極力軽減し、災害後のスムーズな支援につなげ、市民の生活をいち早く再建

する体制を整えることが必要である。そのためにも、災害見舞金をはじめ、各種被災者支援制度において、申請窓口の一元化及び書類の簡素化、一元化を行い、罹災証明書の申請から各種支援を受けるまでワンストップの手續制度を創設することを提案するがどう考えているか。

答 自然災害による被害を受けた方々の心労や負担は、相当なものであることから、一日も早く日常の生活を取り戻せるよう、各種支援の申請に係る負担を軽減するなど、被災された方々に寄り添うことは非常に重要であると考えています。

今後、被災者の方々の負担を軽減するために、被災者支援システム等の改修を検討し、大規模災害時には、特設会場を設置するなど、各種手續に係る申請窓口の一元化に向け、庁内横断的に連携し、取組を推進していく。

年末調整手續の電子化

問 現状の紙で対応している年末調整手續では多くの

確認作業や入力作業があり、平時と比べて給与担当者の業務量が多くなっている。業務のペーパーレス化を進め、職員の業務効率を上げるため、年末調整手續を電子化してはどうか。



答 年末調整手續の電子化については、電子化による効果や課題を踏まえ、実施方法やシステム改修等の検討を進め、早期のデジタル化を図りたいと考えています。

また、庁内のデジタル化に取り組むことで、生み出

されるリソースは、新たな課題解決などに充てることのできるようになり、今後、庁内のデジタル化をはじめ、様々な分野においてデジタル技術を活用し、利便性の高い行政サービスが提供できるよう努めていく。



やまもと たいち
山本 大地

本市職員における生成AIの活用

問 人口が減少し、労働人口が減っていくなか、支援を必要とされる人は増えていく。市役所の職員数が減っても、行政サービスを維持していかなければならない。行政の業務は、複雑で全てにおいて代替することとは難しいと思うが、その一端を担う存在として、生成AIの有効的な活用は、市民サービスの向上や労働時間の抑制など、労働環境の改善にも大きく寄与すると考えている。

本市は、県下で初となる生成AI利用ガイドライン

を制定したが、積極的に利用されている雰囲気を感じられない。ガイドライン制定後における職員の生成AIの使用状況はどうか。

答 アンケートでは、生成AIを利用したことがある職員は、約17%であった。



問 生成AIの利用率約17%は、非常に少ないと言わざるを得ない。

埼玉県戸田市では、生成AIが導入された1か月で、500時間相当の労働時間の削減につながり、職員給与と換算すると約225万円の削減効果があり、生成AIの利用料に対して、費用対効果が非常に大きいとの事例も報告されている。

本市においても、何よりも職員が利用できるよう環

境を整えるべきであり、注
意点や活用方法の理解を
しつかりと周知し、まずは
生成AIに触れてもらうこと
が重要である。費用が掛
かるため、いきなり全庁利
用は難しいかもしれないが、
効果を見込める部局や職種
に絞つても、生成AIを
使える環境を提供すべきで
はないか。

今こそ、本市も「変化を
恐れず挑戦する姿勢」を示
すべきであると考える。

本気で職員の利用を促
し、効果を得ようと思うと、
利用できるような環境を整
えるべきだと考えるが、市
長の意気込みはどうか。

答 生成AIの活用による
質の高い回答、プログラム
作成など、業務の効率化に
より職員の負担軽減につな
がるよう、更なる環境の整
備を積極的に進めていきま
いと考えている。

まずは利用者を増やし、
生成AIの技術とサービス
を有効に活用することで、
職員の限られた時間を政策
立案や創造的な活動に充て
られるようにし、市民生活
の向上を図っていく。



しばもと かずき
芝本 和己

文化の育成

問 令和3年に開催した紀
の国わかやま文化祭を契機
に、文化育成に向け様々な
取組が行われてきたが、ま
だまだであるとも感じる。
今後、和歌山市文化芸術推
進基本計画をどのように深
化させ、「文化のまち、和
歌山市」にするのか。

また、計画の主要事業で
あり長年続いてきた市民茶
会が、令和5年度で終了す
ることである。数百人
規模の市民が文化芸術に触
れられる貴重な機会であり、
終了はマイナスに働くので
はと感じるが、事業の定期
的な見直しは当然のこと
もある。この機会を今後ど
のような計画をもって補完、
もしくはこれまで以上に市
民が文化芸術に触れる機会
にしよつと考えているのか。
答 各文化団体から意見を
伺いながら、市民がともに
文化芸術の振興に取り組ん

でいただける計画へと深化
させ、文化のまちづくりを
進めていきたいと考える。
また、市民茶会について
は、観光要素を加えなが
ら、新たな形で取り組みた
いと考えている。

学校の適正規模化

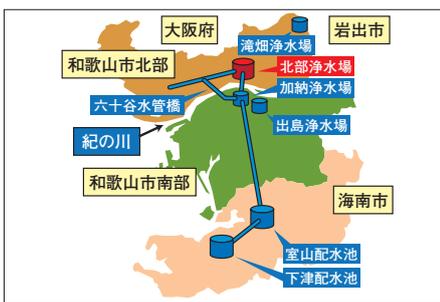
問 市内の小中学校等にハ
ード面での費用を投じて
いるが、対症的な更新
は負担が大きく、将来的に
小中一貫校となれば、投資が
無駄になるかもしれない。

和歌山市立学校適正規模
化の方針と照合すると、見
直しが必要な小学校は50校
中19校にも上るが、方針の
策定は13年前である。第2
期策定を急ぎ、計画に基づ
く改修と必要に応じた対応
をすべきと考えるがどうか。
答 個々の学校にとつて最も
ふさわしい適正規模化の在
り方を検討し、今の時代に
即した方針に見直していく。

水道事業の広域化

問 将来の水道料金値上げ
の抑制及び安全性の確保を
急ぐ観点から、県と一緒に
広域化を積極的に推進し、

地方財政措置を行い、施設
更新の加速化をサポートす
べきであると考える。これ
らへの各種対策が講じられ
るのは令和16年までの時限
立法であり、時間的猶予は
ない。市長の考えはどうか。



送水ルート例(案)

答 経営基盤の強化は私の責
務であると考えている。広
域化は国の交付金や地方財
政措置が活用でき、財源確
保にもつながる。県に働き
掛け広域連携協議の推進を
加速させるよう求めていく。



きの じゅうぞう
木野 十三

公明党議員団

人権問題

問 セクシャルマイノリティ
について、社会での理解が
得られず、悩まれている
市民がたくさんいることか
ら、本市としてパートナー
シップ・ファミリースhip制
度を導入し、「インクルー
シブ社会実現のまち 和歌
山市」を目指すべきと考
えるが市長の考えはどうか。

答 県が導入したパー
トナーシップ制度を活用し、
利用できるサービスの調整
に取り組んでいる。今後も
インクルーシブ社会の実現
を目指し、取組を進める。

和歌山城の整備

問 野犬捕獲保護のための
人員、費用を増やし、啓発
活動や剛腕のドッグトレー
ナーに依頼し、譲渡できる
犬を増やすなどの施策を導
入すべきと思うがどうか。

答 動物愛護指導職員とし
て2名雇用しており、今後
も他都市の先進的な取組を
調査・研究し、職員のスキ
ルアップに努めるとともに、
参考となる事例を積極的に
取り入れていく。

問 旧中消防署跡地に城の門構えを復活させ、市民が気軽に訪れ、楽しめる場所を作るべきと思うがどうか。



旧中消防署跡地

答 整備に必要な資料の収集等を行い、再現整備を検討していきたいと考える。

問 天守閣前にあるトイレを広いバリアフリーに変えるべきであると思うが、どのように考えるか。

答 まずは、内部の間仕切り変更などで改善を図り、将来的にバリアフリーにしたいと考えているが、文化庁と協議が必要であり、検討を進めたいと考えている。



まつもと てつろう
松本 哲郎

空き家対策

問 昨年の6月7日に成立し、12月に施行された空家等対策の推進に関する特別措置法の改正について、市はどう考えているか。

答 空き家の活用拡大、管理の確保、特定空家等の除去等の3本柱を軸に対策を総合的に強化するもので、新たな制度を活用しながら、除去等の促進に加え、有効活用や適切な管理についても推進したいと考えている。

買物弱者対策

問 人間が生きていく上で、大切な要素は衣食住であると言われており、大切な食の部分の調達手段が崩れつつある。本市としても、官民あげてのきめ細かなサービス支援が必要であり、今までより一歩進んだ取組が求められている状況である。

答 愛知県春日井市の移動スーパーマーケット事業「道風くん」や兵庫県神戸町の閉店スーパー再生事業などの公民連携事例を参考にし、対策に取り組むべきだと考えるがどうか。

答 買物が困難となっている地域の要請に対しては、事業者への働き掛けを行うとともに、解決に向け、他都市の事例も参考に関係者間で情報共有し、継続的に検討を進める。

投票支援カード導入

問 重度の障害のある方が、選挙権があっても投票するハードルが健常者に比べて高く、途中で諦めてしまいうケースがある。投票支援カードを導入し、スムーズに投票できる環境整備を行うべきと考えるがどうか。

答 有効な支援策であると考えており、安心感を持って投票できるよう、速やかに取り組んでいく。



民主クラブ



やまじ やすよ
山路 恭世

母親目線での市の防災

問 避難所生活で体を清潔に保つことは精神的な意味でも女性にとって大事なケアとなる。おりものシートを備蓄及び推奨してはどうか。

答 体を清潔に保つことから、拡充品として前向きに検討する。

問 配慮が必要な子供を受け入れる福祉避難所について、受入れ可能施設の拡充が急務ではないか。

答 拡充に向けて取り組んでいきたいと考えている。

6か月未満乳児のセーフティネット

問 乳児とその家族が相次ぎ高熱を出した場合、使える制度はあるか。

答 一時的に養育が困難な場合、生活を援助するショートステイ事業があり、乳児については、病状や施設の体制で

受入れを判断する。

問 乳児がショートステイを利用する場合、受入れ施設が本市にはないため、隣接する他市施設に預けることになるが、行政の送迎への手助けはあるか。

答 ファミリー・サポート・センター事業で送迎支援があるが、事前登録が必要で、病状等により判断を行う。



やまもと ただすけ
山本 忠相

まちづくりと公共交通

問 県都として活力にあふれたまちづくりを実現するには「ヒト・モノ・カネ」のどれかが欠けてもならず、人が動くための公共交通が重要である。

答 市が目標とする多極型のコンパクトな都市構造に近づいたとのことだが、バス路線の廃止により、大きく遠ざかるうとしていいる。市長が施政方針で述べた地方創生による人口の社会増に向けたラストパートナーと同時に、公共交通維持のスター

トダッシュをしてほしいと強く願うが、市長の見解と覚悟はどうか。

答 全ての人に住みやすいと感じてもらえる居住環境の充実が重要となる。

そのため、既存の公共交通の維持、活性化を図るとともに、次世代モビリティや新たな技術革新の導入で、乗り継ぎなど利便性・効率性を高めたいと考える。観光も含めた地域全体の利用者を拡大し、公共交通全体の採算性を向上させ、守りから攻めへのスタートダッシュを切り、誰もが便利で安心、安全、快適に移動できるまちづくりを進める。

和歌山興志クラブ



ながの ひろひさ
永野 裕久

共通投票所の設置

問 居住地に関係なく投票できる共通投票所の設置が、年々増加している。中核市規模では函館市などが開設

しており、本市の設置も不可能ではないと考える。

答 投票の利便性向上には、共通投票所の設置が有効であり、本市での設置を提案するがどうか考えるか。



中央卸売市場の青果せり開始時刻

答 投票の利便性向上につながるかと考える。しかし二重投票を防止するため、投票済みの情報をリアルタイムで共有する必要があるので課題も多い。課題解決に向けた前向きに研究していく。

問 本市の第1回目の青果せり開始時刻は全国一早い。

量販店の開店時刻と連動させているためとのことだが、量販店は全国どこにでも存在し、著しく早いせり開始

時刻の理由にはならない。

近々施設が新しくなる今こそ、労働環境の改善に向けても組織改革を進めるべきでないか。今後どれだけAIの時代が発展しようとして、人を大切にしない業界や組織に成長はないと考える。働き方改革の一環として、せり開始時刻を改め、全国の中央値にもっていく等を含め、再考してはどうか。

答 今回、議員ご指摘のとおり、本市の青果せり開始時刻が全国で一番早いと判明した。それを受け、今まで当たり前だと考えていたが、改めて考えさせられたとの意見もあった。せり開始時刻は働き方改革の観点からも重要で、これを機に改めて課題提起を行う。

日本共産党議員団



さかくち たみこ
坂口 多美子

介護保険制度

問 訪問介護の基本報酬が

減額となることで、事業所の倒産や人員不足を招くと抗議の声が上がっている。

と考えるならば、市として財政措置など手立てが必要だと思いがどうか。

答 処遇改善加算の活用で同等の報酬が確保される。

健康保険証の廃止

問 医療機関から不安の声があり、準備も整っていないとは言えない。12月の廃止は拙速と考えるがどうか。

答 万全を尽くすよう国に対して要望していく。



みなみはた さちよ
南 畑 幸代

災害対策

問 避難所の国際基準「スファイア基準」をどう考えているか。

答 内閣府も参考にすべき基準との記載があり、参考にしている。

問 質の高い環境づくりを掲げた避難所運営にどう取り組むのか。

答 今後あらゆる災害を見据えた事前の備えを徹底し、命を守り、安全と安心を感じ暮らせるまちを目指す。

問 防災会議の女性委員登用にどう取り組むのか。
答 会長として関係機関へ登用を働き掛けていく。

声の市議会だより
(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 秘書広報課
☎435-1120 までご連絡ください。

次の定例会は、
6月です!

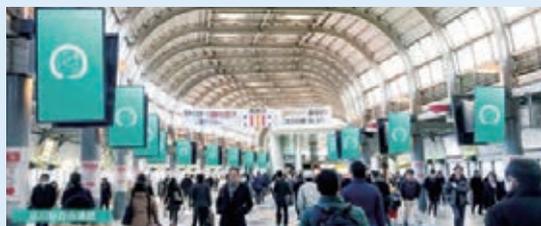


委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案7件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和6年度の主要事業については、次のとおりです。

首都圏におけるプロモーション
390万8千円について。これは、「和歌の聖地」としての短編動画を用いた東京駅・品川駅・港区公共施設でのPRや北区と連携した本市ゆかりの地を巡る周遊キャンペーンを実施し、首都圏におけるプロモーションに取り組むものです。



公共施設でのPRイメージ

電子決裁・文書管理システムの導入2億4257万円について。これは、文書事務のデジタル化による事務の効率化、公文書管理の適正化を図るとともに、職員の多様な働き方や更なるデジタル化を見据えた業務の改革

に対応できる環境の整備を図るものです。

緊急時用ろ過装置車を導入144万円について。これは、小中学校のプールの水などを殺菌し、生活用水を供給できろ過装置付き車両を導入し、応急給水体制を強化するものです。



ろ過装置車のイメージ

災害情報伝達手段の強化2052万4千円について。これは、防災行政無線その他情報連携に係るシステム機器の維持管理に加え、災害発生時の災害関連情報（交通規制や避難所開設状況等）を地図上に一元的に可視化し、市のHPやSNSで発信するものです。

なお、審査過程において、令和6年能登半島地震に伴う対応状況などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



3月11日



3月13日

厚生委員会

当委員会に付託された議案25件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和6年度の主要事業については、次のとおりです。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施2273万8千円について。これは、フレイル状態に陥りやすい高齢者に対し、医療専門職が個別訪問を行うなど、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援を行うとともに、通いの場への積極的な関与を通じ、口腔機能の向上や生活習慣の改善により健康の保持増進を図るものです。

带状疱疹予防接種費用の助成286万6千円について。これは、带状疱疹の発症及び重症化を予防するため、満65歳・70歳の方を対象に带状疱疹予防接種費用の助成を行うものです。

がん対策の推進2億1857万2千円について。これは、がんの早期発見・早期治療によつてがんによる死亡率を減少させるため、現在実施している5歳刻みの個別勧奨通知の送付を対象者全員に拡充することで、がん検診受診率向上を図るものです。

南保健センター障害者用駐車場への屋根設置705万1千円につ

いて。これは、障害をお持ちの方が雨天時に安全に車両に乗降できるように、南保健センターの障害者用駐車場に屋根を設置するものです。



南保健センター障害者用駐車場

産前産後期間の保険料減額27万8千円について。これは、出産する被保険者の国民健康保険料（所得割保険料及び被保険者均等割保険料）について、産前産後期間相当分（4か月間（多胎妊娠の場合は6か月））を減額するものです。

なお、審査過程において、新型コロナウイルスワクチン接種、こども家庭センターの設置、組織改正、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定、太陽光発電事業の進捗などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



3月12日



3月14日



委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案14件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和6年度の主要事業については、次のとおりです。

地域計画の策定588万3千円について。これは、地域での話合いやアンケートによる意向調査を行い、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化し、それを実現すべく、地域内外から農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを活用した農地の集約化等を進める地域計画を立てます。農業委員会は、農地の現況地図の整理及び地域の担い手や農地所有者の10年後の意向を反映させた目標地図を作成するものです。

和歌の聖地・和歌の浦誕生1300年記念事業450万2千円について。これは、和歌の聖地・和歌の浦の歴史が始まり1300年の節目を迎えるに当たり開催される記念大祭に交付金を交付するとともに、市主催のイベントとして短歌ワークショップを開催するものです。

夜間中学の設置296万8千円について。これは、様々な理由により中学校を卒業していない方や不登校のためにほとんど中学校に

通えなかった方、義務教育を修了していない外国籍の方などに学びの場を提供するため、夜間中学の設置に向けた検討を進め、令和7年4月の開校を目指すものです。

小学校給食費の無償化9億790万7千円について。これは、子育て世帯への支援及び良質な学校給食の提供並びに教職員の徴収事務の負担軽減等のため、和歌山市立小学校及び義務教育学校（前期課程）の給食費を無償化するものです。



なお、審査過程において、組織改正、名勝和歌山城西之丸庭園保存活用計画（案）概要、和歌山市立博物館協議会について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



3月12日



3月14日

建設企業委員会

当委員会に付託された議案31件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和6年度の主要事業については、次のとおりです。

和歌の浦魅力向上施設の開館262万3千円について。これは、和歌の浦周遊の拠点となる施設を令和6年9月（予定）に開館させ、周辺施設の観光案内・和歌の浦の歴史文化の情報発信・体験・地域住民と来訪者の交流・滞在休憩機能などを充実させるものです。



和歌の浦魅力向上施設（イメージ図）

（仮称）梅原広場アクセス道路の設計2710万円について。これは、和歌山大学前駅近くの（仮称）梅原広場へのアクセス道路を設計するものです。

友田町三丁目再開発計画策定

への支援1145万7千円について。これは、準備組合が実施する事業計画案作成等に対して助成するとともに、まちなかの更なる拠点整備及びにぎわい創出に向け、市街地再開発事業の効果測定等を行い、活性化に寄与する施設整備を検討するものです。

JR和歌山駅舎、駅前広場の駅まち空間活性化基本構想の策定3080万円について。これは、京都の玄関口であるJR和歌山駅周辺エリアの活性化のため、駅周辺整備構想を策定するものです。

今後の和歌山電鐵貴志川線維持に向けた対策の検討309万9千円について。これは、和歌山電鐵貴志川線が安定的かつ継続的に運営できるよう、今後行うべき利用促進や利便性の向上対策などを検討するとともに、安全輸送を確保するために必要な費用などの調査を行うものです。

なお、審査過程において、組織改正、和歌山市水道ビジョン2024（原案）、雑賀崎廃旅館除却事業の進捗などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



3月11日



3月13日

2月定例会採決状況

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」と表記しています。

なお、議長は通常、採決に加わらないため「/」としています。また、議員名は、会派ごとに議席番号順に表記しています。

※採決状況は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

議案番号	件名	結果	創和クラブ										公明党議員団					民主クラブ			和歌山興志クラブ		日本共産党議員団		日本新の会															
			辻本太一	林元光	新古祐弘	志賀弘明	山本大地	浜田真輔	中村謙彦	丹羽直子	井上直樹	芝上和人	戸田正己	古川祐典	山本宏一	北野均	遠藤富士雄	堀登美子	木野十三	堀良子	西風章世	園内浩樹	藪浩昭	奥山昭博	松本哲郎	山路恭世	清末博善	山中敏史	川端康史	山本忠相	赤松良寛	吉本昌純	尾崎方哉	森下多美子	坂口多美子	南畑幸代	中谷孝次郎	山野麻衣子		
議1	令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議2	令和5年度和歌山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議3	令和5年度和歌山市卸売市場事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議4	令和5年度和歌山市土地造成事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議5	令和5年度和歌山市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議6	令和5年度和歌山市住宅改修資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議7	令和5年度和歌山市住宅新築資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議8	令和5年度和歌山市宅地取得資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議9	令和5年度和歌山市駐車場管理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議10	令和5年度和歌山市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議11	令和5年度和歌山市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議12	令和5年度和歌山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議13	令和5年度和歌山市直轄事業用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議14	令和5年度和歌山市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議15	令和5年度和歌山市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議16	令和5年度和歌山市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議17	令和5年度和歌山市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議18	令和5年度和歌山市漁業集落排水事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議19	和歌山市退職手当基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議20	和歌山市手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議21	市道路線認定(15路線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議22	市道路線変更(1路線)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議23	公有水面埋立ての免許出願に対する意見	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議24	令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第12号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議25	令和5年度和歌山市卸売市場事業特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議26	令和5年度和歌山市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議27	令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第13号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議28	令和5年度和歌山市卸売市場事業特別会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議29	令和5年度和歌山市直轄事業用地先行取得事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議30	令和6年度和歌山市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議31	議案第30号 令和6年度和歌山市一般会計予算の組替えを求める動議	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
議32	令和6年度和歌山市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議33	令和6年度和歌山市卸売市場事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議34	令和6年度和歌山市土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議35	令和6年度和歌山市住宅改修資金貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



初開催!

親子DE議会!自由研究ツアー

夏休みの自由研究に!! 親子で楽しく市議会について学びませんか?

日時: 7月26日(金)午前10時~11時30分
 場所: 和歌山市議会(市役所3階)
 対象: 市内在住の小学4年生から6年生の児童と保護者
 定員: 10家族
 内容: ・市議会〇×クイズ
 ・議場で議員体験
 ・議会フロアスタンプラリー など



※参加者には、缶バッジと修了証をお渡しします。
 ※参加1家族に図書カード(1,000円分)をプレゼント!

申込: 6月14日(金)までにWEB
 からお申し込みください。
申込はコチラから▶▶▶



※当選発表は7月1日(月)で、当選者のみ通知します。
 ※参加者には当日に限り、市役所周辺の市の施設
 (一部)について入場優待を実施します!

午前は市議会、午後からは市役所
 周辺で学べる1日に!!

調査活動報告

総務委員会

総務委員会では、令和5年11月7日に、自治体DXの推進により市民生活の利便性向上及び職員の業務効率化を先進的に進めている横須賀市へ「Chat GPT」について、同8日に、公職選挙におけるマイナンバーを活用した投票作業の導入を目指している、つくば市へ「インターネット投票」について、それぞれ行政視察を行いました。



つくば市役所の視察の様子

調査活動報告

経済文教委員会

経済文教委員会では、令和5年11月7日に、福岡市へ「博多旧市街プロジェクト」について、同8日に東広島市の広島県立教育センターへ「不登校支援(スペシャルサポートルーム)」について、同9日に、広島市へ「夜間、早朝の活用によるにぎわい創出事業、企業誘致・創業支援」について、それぞれ行政視察を行いました。



広島県立教育センターの視察の様子

調査活動報告

厚生委員会

厚生委員会では、令和5年11月15日に、障害者への合理的配慮の普及啓発を目指している呉市へ「合理的配慮支援事業」について、同16日に、全ての子供の健やかな成長のため各種支援に取り組んでいる明石市へ「0歳児の見守り訪問『おむつ定期便』」及び「こども食堂」について、それぞれ行政視察を行いました。



呉市役所の視察の様子

調査活動報告

建設企業委員会

建設企業委員会では、令和6年1月24日に北九州市の日明浄化センターを訪問し、下水污泥の燃料化や海外事業展開などについて説明を聞き、意見交換、施設見学を行いました。また、翌日の25日には熊本市役所を訪問し、交通企画課及び移動円滑推進課から、公共交通政策についての説明及び意見交換を行いました。



日明浄化センターの視察の様子

調査活動報告

地震等災害対策特別委員会

地震等災害対策特別委員会では、令和6年1月29日に新宮市役所及び那智勝浦町にある和歌山県土砂災害啓発センターへ現地視察を行いました。平成23年紀伊半島大水害での災害対応や被災後の復興事業の取組について学び、本市の台風及び近年多発する線状降水帯による風水害対策に生かしていきたいと考えます。



新宮市役所の視察の様子

市民に最も身近な市議会を目指しています!

和歌山市議会広報委員会

【委員長】中谷 謙二 【副委員長】堀 良子
 【委員】山野 麻衣子 山路 恭世 清末 博善
 堀 登美子 辻本 太一 林元 光広
 新古 祐子 坂口 多美子 永野 裕久

議会広報アンケート(ご意見・ご感想)にご協力お願いします

実施期間:
 令和6年7月31日
 (水)まで



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、再生紙及び植物油インキを使用しています。

